

医務室だよ！



感染リスクが高まる5つの場面を確認しておきましょう。

学生の皆さん、こんにちは。新型コロナウイルスの第3波が到来していますね。3密を避ける、手洗い、マスクの着用、身体的距離の確保など各自で感染予防には十分留意していただいている事と思いますが、今回は感染リスクが高まる5つの場面を確認し、予防意識をもう一段階アップしましょう。

場面1：飲酒を伴う懇親会

本来ならばこの時期はクリスマスや忘年会、新年会など大学生の皆さんにも飲酒の機会が増える楽しい時期ですよ。しかし、飲酒の席では感染リスクが高まってしまう事も事実です。

お酒に酔って気分が高揚する事で大きな声になったり、「これ美味しい！一口飲む？」と回し飲みをした経験、皆さんにもありませんか？

場面2：大人数や長時間におよぶ飲食

飲酒をしていなくても、大人数になるとその場にいる人全員に声が届くように声が大きくなりがちなので注意が必要です。マスク会食も新しいマナーとして提言されましたね。

場面3：マスクなしでの会話

マスクをしながら話していると息苦しい、口元が見えずに何を言っているかわからない等の理由でついマスクを外してしまいがちです。でも口を開く時こそ飛沫が飛ぶので、会話をする時はマスクを正しく着用してください。

場面4：狭い空間での共同生活

長時間にわたる閉鎖空間の共有は感染リスクが高まります。同居家族のいる方は、自身だけでなく家族の体調にも関心を持ってくださいね。

場面5：居場所の切り替わり

講義中はマスクの着用や、身体的距離の確保ができていても休憩時間や課外活動になると途端に気が緩み友人と近距離でマスクをはずした状態で会話したりしていませんか？

以上の5つの場面は特に感染リスクが高まる場面とされています。このような場面に遭遇しないようにして自分自身の身体を感染から守りましょう◎

～手洗いチェック結果👁～

11月の医務室イベントとして手洗いチェックを行いました。手洗いチェック専用ジェルを用いて普段通りの手洗いをしてもらった後にブラックライトを当てると・・・汚れが落ちていない部分が青白く光るので、手洗いの不十分な箇所を目で見る事が可能になります。参加して下さった学生の皆さんは自分の手洗いが行き届いていない部分を見て驚いていました。正しい手洗いは感染予防の第一歩です。

自身の手洗い方法について再度確認してみてください。チェックをしてみたい人は引き続き医務室で受け付けていますので一度教学課窓口までお越しくださいね。

覚えておいて欲しい、セクシャルコンセントのお話。



コロナ自粛による若年層の望まない妊娠の報道も多かった今年。性に対する知識の欠如が要因の一つであると言われています。特に諸外国に比べて日本では性教育が遅れており、学ぶ機会が少ない事が問題視されています。

そこで今回はセクシャルコンセントについてお話したいと思います。皆さんは、セクシャルコンセントという言葉を知っていますか？セクシャルコンセントとは、言葉の通り性的同意の事です。当事者が望まない、同意のないあらゆる性的行為は全て性暴力となります。あらゆる性的行為ですから、キスやボディータッチはもちろん、身体的接触がなくても言葉によって自尊感情を傷つける事も性暴力になります。セクシャルコンセントについて正しく理解できていないと自身が性暴力被害者や加害者になってしまう危険性があります。では、大学生の皆さんが陥りやすい性的同意の思い込みについてお話します。

思い込みその1：二人きりでの食事は性的同意のようなもの

違います。食事に同意しただけであり、性的行為に同意したわけではありません。

飲酒も同様です。もし相手が泥酔してしまった場合は同意なんて取れません。泥酔してしまった相手の安全を確保する事を最優先に考えましょう。

思い込みその2：露出の多い服装は相手も望んでいる

ファッションです。露出の多い服を着ているから誘っていると思うのは勝手な勘違いです。

思い込みその3：家まで来たのだから、さすがに・・・

家に来る、泊まる＝性的同意ではありません。

思い込みその4：恋人同士なのだから性的同意は大前提

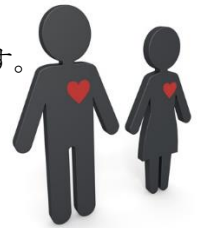
場所、時間、気分、避妊具の有無など同意の条件は多岐に渡ります。恋人同士や夫婦だからと言っていつでも同意があるわけではありません。もちろん男女共に、です。

思い込みその5：いやよ、いやよも好きのうち？

言葉だけでなく表情や声のトーンなど非言語的コミュニケーションで気持ちを推し量る事が大切です。嫌、良い、という言葉のみに囚われず相手をよく見つめてください。

思い込みその6：一つの行為が良いならその先も・・・

例えば、キスに応じてくれたから、ボディータッチも構わないだろうというのは危険な思い込みです。



いかがでしたか？性暴力と言うと知らない人からある日突然受ける事をイメージしがちですが、恋人同士の間柄であってもお互いの同意がなければ性暴力になってしまうというのは誰でも加害者、被害者になりうるという事がおわかりいただけましたか？

性暴力の被害者にならないためには、自身の本当の気持ちを見つめる事がとても重要になります。相手を嫌な気持ちにさせたくない、怒らせたくない、と自身の気持ちを無視して相手の事ばかり考えていると知らず知らずの内に性暴力の被害者になってしまい自身を傷つけてしまう事になります。

また、加害者にならないためには相手の気持ち、思いを尊重する事です。

もし、性暴力について相談したい場合は全国共通の相談電話番号#8891（早くワンストップ）に連絡してください。相談窓口から医師やカウンセラー、弁護士などの専門家に支援を繋げてくれます。

絶対に1人で悩まないようにしてくださいね。

